



第17号

2023.09 発行



こがしりんぽかん
古賀市隣保館



かん



「ひだまり館」だより



ことし りっぱ さ
～今年も立派なひまわりが咲きました🌻～



この記事に関するお問い合わせは、
古賀市隣保館「ひだまり館」
住所：古賀市新原 1051-6
TEL：092-943-4222
FAX：092-943-4244



じぎょうほうこく *事業報告*



①じんけん平和教室♡(小学生対象)

戦争や原爆の悲惨さから、平和や命、人権の大切さについて学ぶことを目的として、フィールドワーク1回、館内学習を3回実施しました。(9月末時点)

館内学習では、世界で実際に起こっている戦争や紛争、原子爆弾についての映像視聴、戦時中の食事体験(すいとん、塩おにぎり)、班ごとに福岡市フィールドワークのまとめを行いました。

福岡市フィールドワークでは、博多ガイドの会による案内のもと、福岡大空襲に関連した冷泉公園、旧十五銀行跡(博多座)、博多小学校、立石家防空壕を見学しました。実際に防空壕の中に入ることができ、参加児童にとって貴重な経験になったと思います。長崎市フィールドワークは、台風6号の影響で残念ながら延期となりました…。残り二日の内容については、次号のひだまり館だよりで報告します!



・・・<スケジュール>・・・

7月31日(月): 開講式、館内学習(フィールドワーク事前学習)

8月2日(水): フィールドワーク(福岡市)

8月4日(金): 館内学習(フィールドワーク事後学習)

8月7日(月): 館内学習(フィールドワーク事前学習)



※下記日程は、台風6号接近により10月に延期

8月9日(水) → 10月7日(土): フィールドワーク(長崎市)

8月10日(木) → 10月8日(日): 館内学習(フィールドワーク事後学習)、閉講式



②ひだまりパスポート♡(小学生対象)

海外出身の方、もしくは海外居住を経験したことのある方をお招きして、海外と日本の「言葉・文化・遊び」の違いをわかりやすく教えてもらいました。

新型コロナウイルスの影響が緩和されたことを受け、民族衣装を着たり、その国の料理を試食したり、チーム戦で遊びを行いました。

講座を楽しみつつも、学習ノートに今日学んだことや感想をしっかりと書いている子が多く、また講師に対して多くの質問が出るなど活発な様子が見られました。

この講座の中で初めて知ったことや新たな発見がたくさんあり、子どもたちも満足そうな様子でした。

・・・<スケジュール>・・・

7月26日(水): 開講式 インドネシア、ポリビアの講師による講座

7月27日(木): 中国、ベトナムの講師による講座

7月28日(金): 韓国、スリランカの講師による講座 閉講式





③スタンドアローン(中学生対象)

市内3中学校に通う中学生が集まって自学自習を行ったり、わからないところをアシスタントの先生と一緒に考えたりして、学習のサポートを行っています。

休み時間には、市内事業所「ソイルキッチン」さんやフードバンク福岡さんから提供していただいた軽食を食べながら、落ち着いた時間を過ごしています。

夏休みスタンドアローン期間中は、調理実習を行いました。食パンからつくった肉まんや、野菜たっぷりミネストローネ風スープをグループ毎に作りました。みなさんと上手に作っていました！

これから、社会体験学習や、季節のイベント等たくさん控えています。お楽しみに！★



・・・スケジュール・・・

【通常版】2023年6月6日(火)～2024年3月14日(木)

毎週火・木曜日 18時～20時

【夏休み版】8月1日(火)、3日(木)、8日(月)、15日(火)、17日(木)

午前：10時～12時 午後：13時30分～15時30分



④よかよか広場(大人対象)

梅雨のじめじめする日や、日差しの強い真夏日もありましたが、よかよか広場にお集まりいただきありがとうございました。

6月から、音楽サロンを始めとして、太極拳やニギニギ体操、七夕・うちわ作り、みんなで歌う昭和歌声喫茶、身体測定を実施することができました。(9月末時点)

コロナやインフルエンザに負けないように、みんなで楽しく活動しています♪

朝晩はだいぶ涼しくなりましたが、季節の変わり目ですので、みなさまお体をご自愛下さいませ。よかよか後半のスケジュールは、クリスマス会や三校合同発表会等控えております。ぜひぜひご参加ください！

・・・スケジュール・・・

高田校：午前10時30分～12時まで(月に2回、水曜日に実施)

新原校：午前10時～11時30分まで(月に2回、木曜日に実施)

ししぶ校：午前10時30分～12時まで(月に2回、金曜日に実施)

※詳しい日程が知りたい方は、古賀市隣保館「ひだまり館」までお気軽に

お問い合わせください。☎92-943-4222



⑤グリーンカーテン

5月にささげ苗を植えて、早くも4か月が経ちました。
植えてから始めの頃は、天候が不安定だったこともあり、なかなか成長の様子が見られず、2〜3個ほど枯れてしまった苗もありました。

ししぶ交流センターから新しい苗をもらい、植え替えをしました。また、肥料を土に混ぜ込んだり、水やりをして様子を見ました。その後の成長は…？



🍀・🌻・🍀・🌻・🍀・🌻・🍀・🌻・🍀・🌻・🍀・🌻

葉っぱの数やおおきさ、ボリュームは去年に負けないぐらい大きな成長をとげました。
どのくらいの量の豆が収穫できるのか楽しみです！

【ミニコーナー】

四択クイズです！“ささげ”は漢字でどのように書くでしょう？

- ①大角豆 ②大月豆 ③大蔓豆 ④大赤豆 ※答えは右下にあります。

～「2023 平和への誓い」紹介～

ひろしま市内小学校6年生の意見作文をもとに選出した20名の中から、さらにピースサミット大賞に選ばれた2名が、毎年行われる8月6日の平和記念式典で、こども代表として「平和への誓い」を世界に発信しています。

私たちが今平和に暮らしていることは、決して当たり前のことではありません。

子どもたちが考えた誓いの言葉は、心に響くものがあります。過去の平和の誓いは、広島市公式ホームページにて閲覧することができます。よかったらご覧ください。

みなさんにとって「平和」とは何ですか。

争いや戦争がないこと。

差別をせず、違いを認め合うこと。

悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

身近なところにも、たくさんの平和があります。



昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。

耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。

皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。

子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。

たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみに埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか。」

仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。

原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから78年経ちました。

今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。

「生き残ってくれてありがとう。」

命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちにもできることがあります。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

友だちのよいところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするときです。

被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。

身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。

誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつづけていきます。

令和5(2023)年8月6日

こども代表 広島市立牛田小学校 6年 勝岡 英玲奈
ひろしましりついつちひがししょうがっこう ねん かつおか えれな
広島市立五日市東小学校 6年 米廣 朋留